

資料4

平成29年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 6月27日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	柳 沢	柳沢公民館開館30周年記念事業 30周年記念陶芸体験教室	地域づくり	8月19日(土)・ 10月21日(土)・ 11月11日(土) ①子ども対象 全2回 ②大人対象 全3回	①子ども対象 延16人 ②大人対象 延41人	・子ども対象、大人対象ともに、 1人2点以上の作品を作成。 ・了解を得られた参加者について作品1点を柳沢公民館開館30周年記念事業で実施した作品展に出展。	【協力・指導】 柳沢公民館で活動する陶芸サークル(絵付研究会・虹遊会・サークル炎々・陶門工房・陶友会・柳沢ラビッツ、釉の会)
2	柳 沢	西東京市民映画祭2017 第16回自主制作映画コンペティション最終予選会	交流	9月24日(日)	18人		※西東京市公民館は、西東京市民映画祭実行委員会に参加
3	柳 沢	雇用・労働問題講座 シリーズ 将来不安を生きる(1) ～人々を幸せにする経済とは?	学習	9月30日(土)	22人	欧米との比較を通して、今、私たちはどのような時代に生きているかと日本の政治・経済について考える機会となった。	田端博邦(東京大学名誉教授) 高須裕彦(一橋大学フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター)

4	柳 沢	柳沢公民館開館30周年記念事業 記念講演会 「わたしたちの公民館～その可能性を考えよう～」	学習	11月19日(日)	45人	公民館の記録映画、基調講演、4人の市民によるレポート等により、公民館のなりたちと意義を考える機会となった。	長澤成次(千葉大学名誉教授、日本社会教育学会会長) ほか
5	柳 沢	雇用・労働問題講座 シリーズ 将来不安を生きる(2) ～働き方改革でどう変わる?	学習	11月25日(土)	7人	「働き方改革」の概要と問題点等について学ぶ機会となった。	青野恵美子(明治大学労働教育メディア研究センター・客員研究員、映像制作者) 高須裕彦(一橋大学フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター)
6	柳 沢	社会教育を考える講座 市民がつくり育てた公民館 ～西東京市公民館のこれから～	学習	10月5日～11月30日 各木曜日 全5回	延85人	講義と市民・元職員によるレポートにより、公民館のなりたちと現状、課題、西東京市公民館のあゆみを知り、公民館のこれからを考える機会となった。	長澤成次(千葉大学名誉教授、日本社会教育学会会長) ほか
7	柳 沢	雇用・労働問題講座 シリーズ 将来不安を生きる(3) ～安心して働くことができる雇用のあり方とは	学習	2月16日(土)	7人	今、働く場で何が起きているのかを知り、日本の労働政策・雇用政策について考える機会となった。	青野恵美子(明治大学労働教育メディア研究センター・客員研究員、映像制作者) 高須裕彦(一橋大学フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター)

8	柳 沢	【共催事業】 子ども対象地域防災講座 もしものときのサバイバルクッキング	地域 づくり	2月21日(水)	12人	発災によりライフラインが止まった時、カセットコンロやポリエチレン袋等の身近なものを利用して食事をつくる方法を学んだ。	小野修平(防災アドバイザー、 ジョージ防災研究所代表) ※西東京市立保谷柳沢児童館 との共催事業
9	柳 沢	現代社会を考える講座 文学で考える沖縄の現代史	学習	1月20日～3月10日 各土曜日 全5回	延122人	短編や戯曲等の沖縄文学を通して、沖縄の現代史を学び、私たちの社会について考える機会となった。	戸邊秀明(東京経済大学経済学部准教授)
10	柳 沢	【共催事業】 地域防災講座 中学生と一緒に防災まち歩き～みんなで災害に強いまちをつくる～	地域 づくり	3月11日(日)	45人	中学生、地域住民、関係機関等、様々な立場の参加者が、一緒にまちを歩き、グループワークをすることを通して、災害時の要配慮者支援について考えた。	小野修平(防災アドバイザー、 ジョージ防災研究所代表) ※西東京市立柳沢中学校との 共催事業
11	柳 沢	子育て中の外国人女性のための日本語講座	学習	5月12日～3月16日 各金曜日 全34回	延354人	日本語学習のほか、地域で利用できる子育て支援施設や幼稚園・保育園、医療機関の受診の仕方等、生活する上で必要な情報の提供も行った。	平成23年度および24年度実施の「外国人のための日本語講座」スタッフ養成講座”修了者。市内日本語教室ボランティア経験者